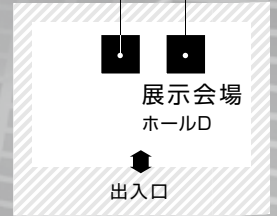


セミナーご案内

画像センシング展2018
精密測定展2018

第1セミナールーム
第2セミナールーム



聴講無料 / 参加登録受付中
事前に参加登録された方から優先的にご入場いただけます

2018年6月13日(水)～15日(金) パシフィコ横浜

最新情報・参加登録は、各展示会ホームページへ

イメージセンシングセミナー2018
<https://www.adcom-media.co.jp/iss/seminar/>

精密測定セミナー
<https://www.adcom-media.co.jp/pmf/seminar/>

第1セミナールーム

| | 13日(水) | 14日(木) | 15日(金) |
|-------|--|--|--|
| 11:00 | ※本講演は都合により中止となりました。 | ディープラーニング搭載画像認識システム TrustSense ～ AI を外観検査や異物検査に用いるコツ～ (株)トラストテクノロジー 山本隆一郎 | 視覚機能としての照明設計の要点と V.I.S.A.可変照射立体角照明 マシビジョンライティング(株) 増村茂樹 |
| 11:50 | | | |
| 12:00 | 可視光から SWIR 光をカバーする マルチ分光イメージング マルチ分光イメージングの画像処理応用 (株)ブルービジョン 長谷川孝美 | 外観検査の自動化は なぜうまくいかないのか? ～ディープラーニングも “やってみる”～ (株)オービット 山田宏和 | リンクスが引き出す産業用画像処理における ディープラーニングの真価。 最新ニーズへの適用事例と技術トレンドを 徹底解説! (株)リンクス 村上 慶 |
| 12:50 | | | |
| 13:00 | 1. Deep Learning を用いた 画像解析ソフトウェア “SuaKIT” 最新バージョン 2.0 の活用方法とアプリケーション事例 2. テレダイン・ダルサ製 偏光ラインカメラの 特長とそのアプリケーションについて 1.(株)エーディーエステック 小嵐勇輝 2.(株)エーディーエステック 前嶋素生 | 最適なカメラ選定に必要な基礎知識 (株)アプロリンク 矢向 博 | Deep Learning を用いた 画像解析ソフトウェア “SuaKIT” 最新バージョン 2.0 の活用方法と アプリケーション事例 (株)アプロリンク 小嵐勇輝 |
| 13:50 | | | |
| 14:00 | 検査精度を上げるための マシンビジョンレンズの選び方 富士フイルム(株) 平田健二 | 【招待講演】(AI-ディープラーニング) 脳と人工知能 理化学研究所 名誉顧問 甘利俊一 | 【招待講演】(自動運転) 商用化が目前に迫る完全自動運転における 画像センシング技術の重要性 インテル(株) 事業開発政策推進ダイレクタ 兼 名古屋大学 客員准教授 野辺継男 |
| 14:50 | | | |
| 15:00 | 【招待講演】(ディープラーニング) ディープラーニングを用いた画像認識と その周辺 ～現状と課題～ 大阪府立大学 大学院工学研究科 准教授 岩村雅一 / 博士課程 山田良博 | マシンビジョンロードマップ2020年 キヤノンITソリューションズ(株) 稲山一幸 | ハイパースペクトルカメラとは何かー 基礎・応用・最近の市場動向まで デルフトハイテック(株) 古家 勇 |
| 15:50 | | | |
| 16:00 | 【誰にでもわかる特別講演】(ロボット) 自分で考えるロボットの実現に向けて オムロン(株) 技術・知財本部 技術専門職 井尻善久 | 【誰にでもわかる特別講演】(QoL) 超高齢化時代におけるみまもり工学： センシング技術への期待 東京大学 大学院医学系研究科 ライフサポート技術開発学(モルテン) 寄付講座 特任教授 森 武俊 | 【誰にでもわかる特別講演】(セキュリティ) 画像認識と周辺要素を バランスさせて実現するセキュリティ ～分野を跨いでバランスについて考える～ セコム(株) IS研究所 副所長 黒川高晴 |
| 16:50 | | | |

イメージセンシングセミナー特別企画 【誰にでもわかる特別講演】

当展示会では例年、同時開催のSSII(画像センシングシンポジウム:主催 画像センシング技術研究会)のご協賛、ご協力のもと、「誰にでもわかる画像処理」をテーマに展示会場内にてご講演をいただいております。

誰にでもわかる言葉で、画像処理は何に使えるのか / 役立つのかを解説するセミナーとして、知識やフィールドに囚われず、人が集まる場として、当展示会の特徴として大変ご好評をいただいております。2014年より開設いたしました、「QoL(Quality of Life)ゾーン」や、近年話題の「ロボット」、「セキュリティ」に連携するテーマで、その分野の第一人者にご登壇いただき、わかりやすく解説いただけます。

※SSIIとは?

「実用化を意識した研究」を目指し、画像センシングの最先端技術の実用化に向け、発展させていく国内最大級の画像処理関連のシンポジウムです。

第2セミナールーム

| | 13日(水) | 14日(木) | 15日(金) |
|----------------|---|---|--|
| 11:30 | Embedded Vision規格の標準化とSLVS-EC規格の最新情報 日本インダストリアルイメージング協会 標準化委員会 委員長 鳥居貞文 / Embedded Vision I/F分科会 主査 赤秀美穂 | | CoaXPress / 光伝送メディア 最新情報 日本インダストリアルイメージング協会 CoaXPress分科会 主査 渡邊雅仁 / 光伝送メディア分科会 主査 福井 博 |
| 12:20 12:30 | ハイパースペクトル・マルチスペクトルカメラの最新の動向とアプリケーション ケイエルブイ(株) | ハイパースペクトル・マルチスペクトルカメラの最新の動向とアプリケーション ケイエルブイ(株) | 高解像度レンズの選定に必要な知識について 興和光学(株) 富永修一 |
| 13:20 13:30 | 【精密測定セミナー】 超伝導光子検出技術を用いた単一光子分光イメージング 産業技術総合研究所 物理計測標準研究部門 量子光計測研究グループ 研究グループ長 福田大治 | 【精密測定セミナー】 光コム of 瞬時3次元形状および断層像計測法への展開 電気通信大学 基盤理工学専攻 特任助教 加藤峰士 | 映像伝送遅延の要因分析と超低遅延映像伝送ソリューション開発のメソッド Revatron(株) 浅田麻衣子 |
| 14:20 14:30 | 簡単・高性能な画像処理ライブラリ Adaptive Vision によるディープラーニングのシステム実装 (株)マイクロテクニカ Marek Krawczyk (Future Processing社) | 無償になった画像処理ソフト Open eVision Studioによる画像処理の初歩(照明・カメラ・インターフェース～画像処理) Euresys Japan(株) 田中応明 / レボックス(株) 西條敦史 | マシンビジョンレンズが受ける光学的影響 エドモンドオプティクス・ジャパン(株) 池田篤史 |
| 15:20 15:30 | ものづくりトラブル対策用カメラシステムの最新情報 (株)イマジオム 高木太郎 | ものづくりトラブル対策用カメラシステムの最新情報 (株)イマジオム 高木太郎 | ものづくりトラブル対策用カメラシステムの最新情報 (株)イマジオム 高木太郎 |
| 16:20 | | | |

6月13日(水) 16:00～16:50 【キーワード：ロボット】



自分で考えるロボットの実現に向けて

オムロン(株) 技術・知財本部 技術専門職 井尻善久

少子高齢化による労働者人口減少やアジア圏における労働者賃金向上等を背景に、ロボットに対する期待は高まる一方で、ロボットラインの立ち上げおよび改善には多大なエンジニアリングが必要である。これは、対象・環境・作業に対しロボットシステムおよびその動きを一品一様で作り込んでいるためであるが、これらを解消するには自分で考えるロボットが不可欠となる。本セミナーでは、ロボティクスに興味を持ち始めたものの馴染みが薄い技術者を対象とし、ロボットにおける最も基本的なタスクである、「把持」に必要な基本技術について紹介する。

6月14日(木) 16:00～16:50 【キーワード：QoL(Quality of Life)】



超高齢化時代におけるみまもり工学:センシング技術への期待

東京大学 大学院医学系研究科 ライフサポート技術開発学(モルテン) 寄付講座 特任教授 森 武俊

日本は65歳以上の割合が人口減少とともに2055年には40%程度になると予想される超高齢社会であり、今年中には75歳以上の後期高齢者が前期高齢者を上回る重高齢社会を迎える。見守りとそれに基づく支援には大きなニーズがある。宅内にセンサネットワークを設置し長期にモニタリングするシステム、それに基づく生活行動予測、独居高齢者の生活パターンのモデリング、生活異変検知を行う手法を中心にみまもり工学を概観し、画像・センシング技術への期待を述べる。

6月15日(金) 16:00～16:50 【キーワード：セキュリティ】



画像認識と周辺要素をバランスさせて実現するセキュリティ～分野を跨いでバランスについて考える～

セコム(株) IS研究所 副所長 黒川高晴

セキュリティでは、画像認識をはじめ、複数の技術を融合させてサービスを構築することが多い。各々の技術にどの程度の重みを置かず、言い換えれば複数の技術のバランスをどう決定するか、については長年検討が続けられてきた。しかし、如何なる場合にも有効な普遍的な手法は存在しない。セキュリティサービスに限らず、画像認識技術そのものやマネジメントでもバランスの問題には頻りに遭遇する。本講演ではセキュリティサービスを始点に、実例を交えながら、画像認識技術や技術組織に関するバランスの問題について考察する。